

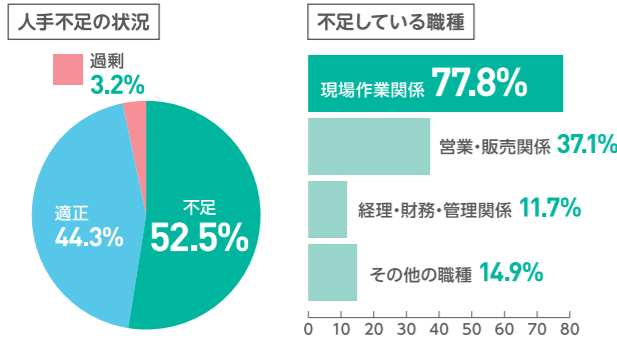
特別調査 2

中小企業における人手不足の状況と対応策について

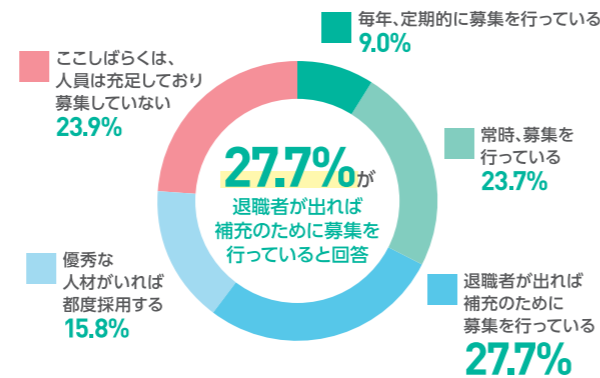
近年、少子高齢化を背景に生産年齢人口が減少していることにより、多くの企業で人手不足が深刻になりつつあり、アフターコロナの需要増加に伴う求人募集においても、人材確保に支障が生じている企業が多くなっています。また、景気動向調査における人手過不足DIにおいても、ここ数年「不足」超の状況が続いています。今回は人手不足の状況と対応策についてアンケートを実施いたしました。

調査時期/2023年11月14日～12月4日 調査対象企業数/1600社 有効回答数/472社 有効回答率/29.5% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

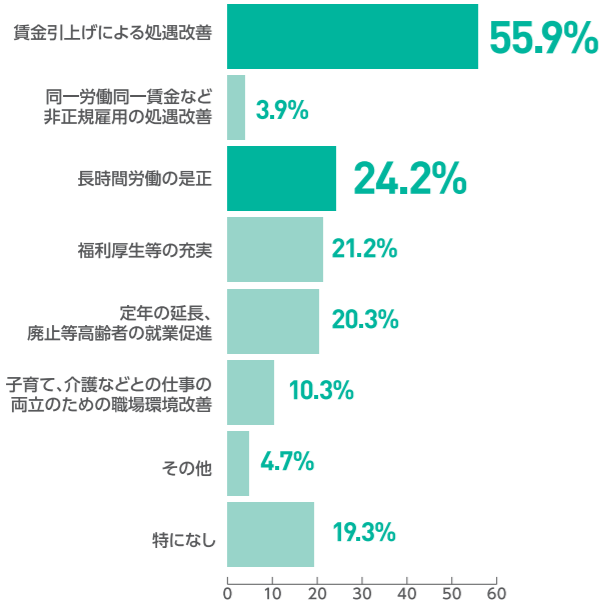
Q1 貴社では最近、さらに深刻になりつつある人手不足の状況をどのように認識されていますか。 ※1つ選択
不足と回答された方は、不足のある職種をお答えください。 ※最大2つ選択



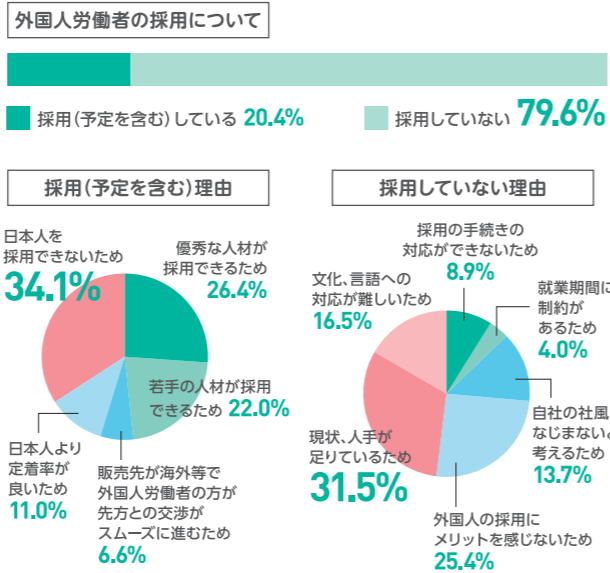
Q2 貴社では人材雇用についてどのような採用方針に基づき募集していますか。 ※1つ選択



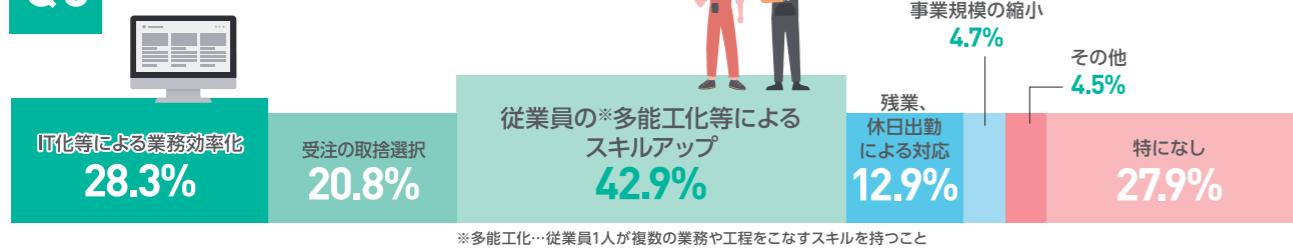
Q3 貴社では人材の雇用確保、維持のためどのような取り組みを行っていますか。 ※最大2つ選択



Q4 貴社では外国人労働者を採用(予定を含む)していますか。採用(予定を含む)している場合、採用していない場合、それぞれ理由をお答えください。 ※それぞれ1つ選択



Q5 貴社において人材不足の中、企業の維持継続のためどのような取り組みを行っていますか。 ※最大2つ選択



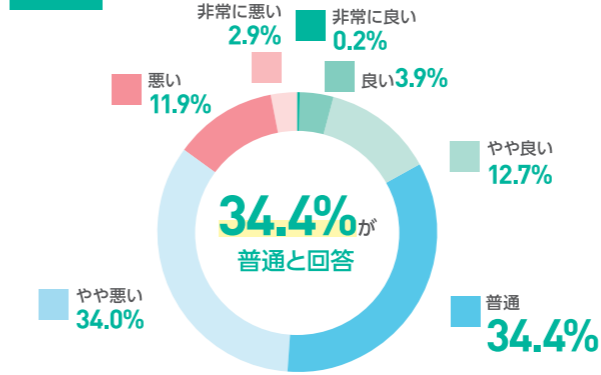
特別調査 1

2024年(令和6年)の経営見通し

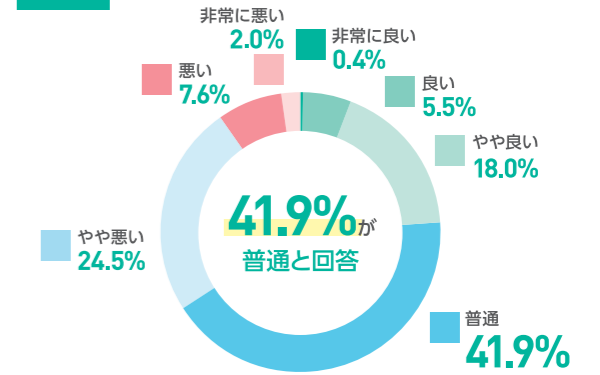
2024年の景気については、経済がほぼ正常化となったものの、原材料やエネルギー価格の高止まり、人手不足の慢性化など中小企業を取り巻く環境は厳しい状況が続くと思われます。今回は新しい年を迎えるにあたり、国内景気や自社における業況を中心に中小企業の皆さまがどのような見通しを立てているかについてアンケートを実施いたしました。

調査時期/2023年11月14日～12月4日 調査対象企業数/1600社 有効回答数/488社 有効回答率/30.5% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

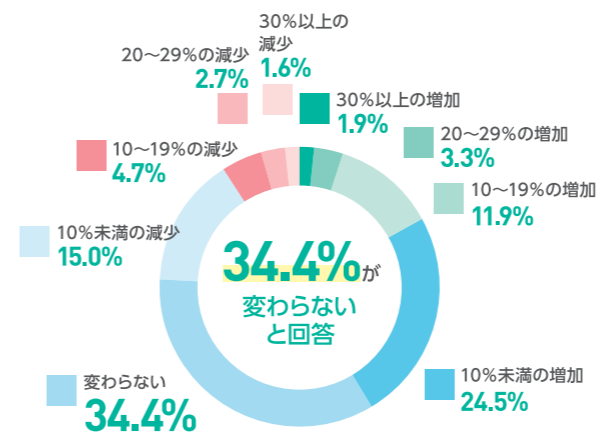
Q1 貴社では、2024年の日本の景気をどのように見通していますか。 ※1つ選択



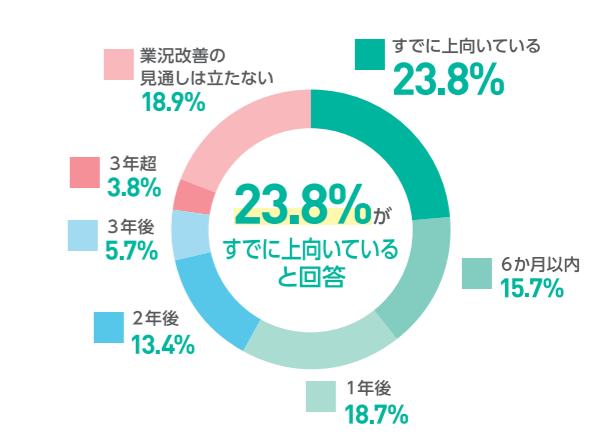
Q2 貴社では、2024年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。 ※1つ選択



Q3 2024年において貴社の売上額の伸び率は、2023年比べておおよそどのくらいになると見通していますか。 ※1つ選択



Q4 貴社では、自社の業況が向上く転換点をいつ頃になると見通していますか。 ※1つ選択



Q5 近年、販売価格や仕入価格に上昇の傾向がみられますが、2024年を展望したとき、貴社では価格面の動向をどのように見通していますか。 ※それぞれ1つ選択

